

## 熊本バイオマススクールの報告

平成 19 年 12 月 15 日から翌 16 日にかけて、草本系のバイオマス利用最前線をテーマとして、九州地域バイオマス関係機関連絡会議、九州バイオマス発見活用協議会及びNPO法人バイオマス産業社会ネットワークの共催で熊本バイオマススクールを開催しました。15日(土)は、熊本市民会館において、3名の講師からススキ、イグサ、ヘンプの伝統的な利用方法と新しい工業利用を紹介した後、会場からの質問を取り上げながら、石油からバイオマスへの転換、循環型社会の形成について、パネルディスカッションを行いました。一般市民や事業者、自治体等から 93 名の参加がありました。



翌日の 16 日(日)は、阿蘇市の草本系バイオマスガス化発電施設、熊本市のストローベイルハウス、八代市の熊本県農業研究センター「い業研究所」の現地見学会に 20 名が参加しました。ガス化発電施設や草原での採草作業、い草製品や製織作業などの説明を受けた後、実際に自分の目で確認しました。ガス化発電の熱変換システム、畳表の絵柄の製織の仕組み等、専門的な質問が多数出されました。

